

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

報告日 令和7年6月30日

- 【日時】 令和 7年 6月 7日（土） 13:00～14:30
【場所】 真壁授産学園 会議室
【出席】 地域関係者1名・市町村担当者1名・利用者家族2名・利用者2名
職員／（施設長）高橋・（主任）藤田・（サービス管理責任者）大野・（副主任）大山

1. 開会

司会の藤田より開会あいさつ

2. 施設長あいさつ

真壁授産学園施設長 高橋より挨拶と地域連携推進会議の趣旨と重要性並びに構成員への感謝を伝える。

3. 自己紹介

参加者全員が自己紹介を行った。

4. 本日の流れの説明

藤田より、施設見学の案内後に議事について質疑応答・意見交換を行うことを伝える。

5. 議事

①施設と地域の連携について

- ・地域密着型のイベントの実施（夏祭り・学園祭等の開催）
- ・ちいき食堂の実施（子供に特化）
- ・溶岩窯マカパンの運営
- ・桜川市、真壁町イベントの参加
- ・生産活動（桜川市内の企業や地域の方々との生産活動に関する関り、自主製品の販売）
- ・水利組合等に関する活動
- ・各官公庁との連携（市役所・消防署・警察署など）
- ・相談支援事業
- ・自立支援協議会への参画

②利用者の権利擁護について

- ・【虐待防止・身体拘束適正化・権利擁護】委員会の設置状況の報告
- ・内部、外部に関する研修報告
- ・虐待防止標語の実施
- ・全職員へのチェックリスト実施
- ・職員に対するメンタルヘルスの取り組み報告

③その他

▼質疑応答

【地域関係者より】

利用者のお給料はどのくらい支給があって、入所支援の月額費用はいくらですか？

【職員より】

令和6年度の平均工賃は18,617円です。

月額費用については、ご本人様の所得に応じてご負担いただきますが、実費負担分は食費・光熱費・日用品・嗜好品など、生活に係るものなどが含まれます。なお障害基礎年金を受給している方がほとんどですが、2か月に1回の受給ですが、入所の月額費用と相殺されるようなイメージです。

【利用者家族より】

昔行っていた作業とはまた変わっていて、今も昔も立派にやられていると感心しました。

【地域関係者・利用者家族より】

帰省などはどのくらい帰れていますか？

コロナ前より少し短く感じたり、イベントが順延になることで帰省が減ってしまうなあ、と…思う部分もあります。子供からは「帰れないお友達もいる」と伺っています。

【職員より】

ゴールデンウィークやお盆期間、年末年始と帰省を設けています。

元気な親御様もおられますが、一方で当初から入所されている方は 50～60 代を迎え、親御様もそれに伴って高齢化が進んでいる状況となり、ご自宅に帰られるご家庭も少なくなっている現状もございます。この現状は、ご家族・ご兄弟・ご親族に関する今後の重要な課題になっていくところでございます。

【利用者家族より】

食事の配慮はどのようにされていますか？

【職員より】

ダイエット食や減塩食をはじめ、利用者さんの持病や予防に繋がるよう配慮しています。

【市町村担当者より】

居室等における男女の行き来はどのようにされていますか？

【職員より】

居室等の行き来については、談話室もあることから昼間の制限はありませんが、21時には仕切りをして、女性への配慮を行っています。

▼意見交換

【地域関係者より】

今日のこの会議でいろいろ知れてよかったと思う。

【市町村担当者より】

施設見学をさせていただいたことが大変良かったです。

【利用者家族より】

自分でも子供に対して苛立つことがあることを考えると、見てもらえるだけで大変ありがたい。

本人も学園での生活を楽しんでおり、帰省時にも長い時には学園に帰ったような様子も見られる。

【利用者より】

家には帰れないけど友達がいるから楽しい。

洗濯当番の仕事はやりがいもあるし、今の自分の生きがいに繋がっているから続けたい。

友達もたくさんいるから楽しく過ごせている。